

Dr. が行う？ジルコニア臨床
Dentist does? Zirconia treatment



佐藤 知雄 Tomoo Sato
日本臨床歯科 CAD/CAM 学会九州支部
佐藤デンタルクリニック（埼玉県志木市）

近年欧米を中心にジルコニアの臨床における治療割合は増し続けている。私もセレックを約 8 年前に導入し、その後、スピードシンタリングのできるファーンネスを 4 年前に導入したことにより、院内でのドクターによるジルコニア製作を行なってきた。当初、ガラスセラミックなどと割合は半々であったが、学会での伴先生の講演を機にジルコニアの割合が前歯臼歯ともに増え、いまではクラウン形態の補綴の 90%以上をジルコニアがしめるようになった。今回は、1000 症例をこえた私のジルコニア臨床の歩みを設備の拡張による変化を交えて考察していきたいと思う。また、ジルコニア臨床において、気をつけるべきポイントを一部の臨床的な実験の結果をお見せしたいと思う。ジルコニアを臨床的にドクターが製作まで行うことは、難しいと思われるかもしれないが、いくつかのポイントを押さえることにより、形態や見た目の優れたジルコニアを作ることは可能である。まだまだ問題の多い臨床ではあるが、その治療の一端を開示することで会員の皆様の一助となるよう私のジルコニア臨床をまとめてみた。